

ながの金融広報だより

金融経済講演会のご案内

参加無料

<参加証必要>

長野県金融広報委員会が主催する本年度最後の金融経済講演会を、次の要領により長野市にて開催します。大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

日時 令和2年**2月17日**(月) 13:30~15:00

会場 ホテルメトロポリタン長野

講師 タレント・コメディアン **バックンマックン**

演題 「笑撃的国際交流
～日米の家庭でのお金模様～」



定員 **120名** (先着順。定員に達し次第締め切ります)

募集期限 令和2年2月7日(金)

【プロフィール】

アメリカ人と日本人のお笑いコンビ。日米コンビならではのネタで頭角を現し情報番組「ジャスト」をきっかけに老若男女問わず、幅広いファン層を持つ。「英語でしゃべらナイト」など英語教育番組などでも活躍。

2003年にはラスベガスで、2007年にはハリウッドで英語漫才のステージも成功させる。現在はテレビなどのメディアでの出演を始め、10年以上前より、精力的に講演活動も行っている。

応募方法 ①郵便番号、②住所、③氏名(ふりがな)、④電話番号(平日昼間に連絡可能な先)を明記のうえ、**はがき、FAX、Eメール、または当委員会ホームページ(スマートフォンからもアクセス可能)から、お申込みください。**

宛て先 〒380-0936 長野市岡田178-8
日本銀行長野事務所内 長野県金融広報委員会「講演会K」係
FAX: 026-223-0128 E-mail: info@nagano-money.com (件名: 講演会K)

※ お送り頂いた個人情報は、当講演会関係事務以外に使用することはありません。

令和元年度金融教育公開授業を赤穂南小学校で開催しました

平成30年度・令和元年度の2年間に亘って「金融教育研究校」を委嘱している駒ヶ根市立赤穂南小学校において、以下のとおり金融教育公開授業を開催しました。同小学校では、「未来の社会人として自立していくために必要な“力”の育成」を金融教育の研究主題に設定し、①選択する力(最適解を選び出す)、②我慢する力、③論理的に考える力、の3点を児童に身に着けさせる必要がある力と位置付けて大変熱心に教育・研究を進めてこられました。今回の公開授業は、その成果を教育関係者やPTAの方々に披露・均霑するものであり、大きな成果を挙げられました。併せて開催した講演会も大変盛況かつ有意義なものとなりました。

《当日のプログラム》

学校名	開催日	公開授業	講演会
駒ヶ根市立赤穂南小学校	11月22日(金)	買い物名人になろう (5年生 家庭科)	演題/日本とアメリカの違いから学ぶ賢い消費者へみち 講師/ダニエル・カール氏 翻訳家・タレント・山形弁研究者

「金融教育研究校」を募集しています

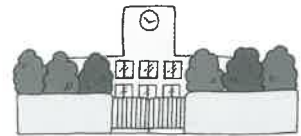
「金融教育」は、人が生きていくうえで欠かせないお金（金融・経済）に関する幅広い学習を通じて、子どもたちの「生きる力」を育む教育です。

幼児、児童、生徒の発達段階に応じた「金融教育」の研究・実践を支援するために、「金融教育研究校」の委嘱校を募集しています。子どもたちが新しい時代を生きるうえで必要な資質・能力を育てませんか。興味をお持ちの学校、先生は、当委員会事務局までお問い合わせください。

研究校に対しては、①金融教育に関する資料の提供、②講師の無料派遣、③研究費の助成といった支援を行います。

令和元年度金融教育研究校一覧

高等学校	中学校	小学校
長野県小諸商業高等学校	佐久市立東中学校	駒ヶ根市立赤穂南小学校
長野県赤穂高等学校	王滝村立王滝中学校	坂城町立坂城小学校
		須坂市立仁礼小学校



「青少年生活設計講座」の開催希望校を募集しています

高等学校・大学・専修学校・各種学校等の生徒を対象に、「青少年生活設計講座」を開催しております。

この講座は、自立した社会人として欠かせない正しい金融・経済の知識を身に付けるとともに、悪質商法被害、クレジットトラブル等の消費者トラブルを未然に防止することを目的としており、毎年20数校に講師を派遣しています。申し込み方法等、詳しくは当委員会事務局までお問い合わせください。

コラム

信州の風

「生きる力」を高めたい

長野県金融広報委員会 事務局長（日本銀行長野事務所長） 松尾 隆敏

信州で2回目の秋は、台風19号による甚大な被害を目の当たりし、自然の力の怖さを改めて思い知らされることとなった。私の身近にも、自宅が被災し仮住まいでの生活を余儀なくされている方々や休校により学習機会を損なわれた児童・生徒さんたち、業務に支障が出ている企業の方々が数多くおられる。今回被災された方々が一日も早く生活再建、生業再建されますよう、心よりお見舞い申し上げます。

私の出身地である兵庫県は、平成7年1月に阪神淡路大震災に見舞われ、神戸市に隣接する私の実家も被災した。当時、第二次世界大戦後に発生した自然災害では最悪のものとされたが、今では復興が進み、街並みは平靜を取り戻している。もっとも、罹災から四半世紀を経て、当時の経験や教訓が風化することへの懸念が高まっており、改めて過去の災害に学ぶ取り組みが進められている。南海トラフ地震や地球温暖化による豪雨など今後発生するおそれのある激甚災害に備えた動きだ。

当地では、まずは復旧・復興を強力に推し進めることが喫緊の最優先課題であることは言うまでもない。ただ、今回の辛い経験・体験を将来の防災減災に最大限

活かし、「生きる力」の更なる向上に繋げていく取り組みを合わせて進めていくことも大変重要だと思う。

さて、私の勤務する日本銀行長野事務所では、この秋から小中学校向けにお金に関する体験学習のプログラムを提供している。お金の知識を広め、子供たちの「生きる力」を高める金融教育の推進を狙ったものである。先日、須坂市内の小学校6年生33名が社会見学の一環で当事務所を訪れ、お金の成り立ちや機能、普通の銀行と日本銀行の役割の違いなどについて学ぶとともに、お札の偽造防止技術や紙幣1億円パック・金塊等の重さの体験、使えなくなった損傷紙幣の裁断片による工作等を行った。真剣な眼差しで話を聞き、熱心にノートをとる子供たちの姿は大変印象的であり、最後のまとめの時間では、講話で直接触れることのなかった外国為替に関する質問や、5年後の改札に絡めて「新札と旧札の切り替えはどのように行うのか」といった質問が相次ぐなど、子供たちの熱気と好奇心に圧倒されそうな時間を共有させて頂いた。あつという間の2時間であったが、楽しい経験・体験として子供たちの記憶に残るとともに、今後の学習意欲に繋がってくれたら嬉しく思う。

長野県金融広報委員会

【事務局】 〒380-0936 長野市岡田178-8(日本銀行長野事務所内)

TEL:026-227-1296 FAX:026-223-0128

E-mail:info@nagano-money.com URL:http://www.nagano-money.com